

令和 8 年度
大学院連合教職実践研究科
教科研究開発高度化系
入学者選抜 7 月選抜
学力検査問題

小 論 文

注 意 事 項

1. 問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
3. 問題冊子は表紙を除いて 1 ページ、下書用紙は 2 ページ、解答用紙は 2 ページとなっている。
4. 問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
7. その他については、監督者の指示に従うこと。

科目名	小論文
-----	-----

令和 8 年 度
大学院連合教職実践研究科
教科研究開発高度化系
入学者選抜 7 月選抜
試験 問 題

(1 枚の 1)

① 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

出典：加藤秀一『はじめてのジェンダー論』（有斐閣、2017年）
（設問の都合で本文を一部改めた。）

問1 下線部は、学校教育の問題としてもよく指摘される。その指摘はどのような事態を念頭に置いたものと考えられるか。それが児童・生徒に及ぼす影響とあわせて説明しなさい。

問2 SDGs において「ジェンダー平等」は、17 の目標の一つとして掲げられているだけでなく、すべての目標に関わる横断的な課題とされる。学校における教科の指導を通じ、あなたはどのように「ジェンダー平等」の実現に貢献できるか（あるいは貢献してきたか）、具体的な例を挙げて説明しなさい。

② 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

AI や IoT などの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、文系・理系といった枠にとらわれず、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が求められています。

文部科学省では、STEM（Science, Technology, Engineering, Mathematics）に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で A を定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習を推進しています。

出典：文部科学省「STEAM 教育等の各教科等横断的な学習の推進」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/mext_01592.html

問1 「教科等横断的な学習」の必要性について、自らの考えを述べなさい。

問2 授業において教科等横断的な学習の効果を高めるためには、どのような工夫や留意点が考えられるか、対象学年、対象教科を例示して述べなさい。